



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

中学

国語一年

六月 第②週

〈クジラたちの声〉





• みなさんにお知らせ

- 1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
- 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
• くれれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
- ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から印刷やダウンロードができます。



• お家の方へ

- 1. 授業で使う文章を印刷する際、お子さんのお手伝いをお願いします。
 - 2. ノートは特に規定はありませんが、漢字学習用と国語のノートの2冊を用意してあげてください。
 - 3. 質問や作文などの添削はメールで随時受け付けています。積極的に送るように、声掛けをお願いします。
-
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から印刷やダウンロードができます。

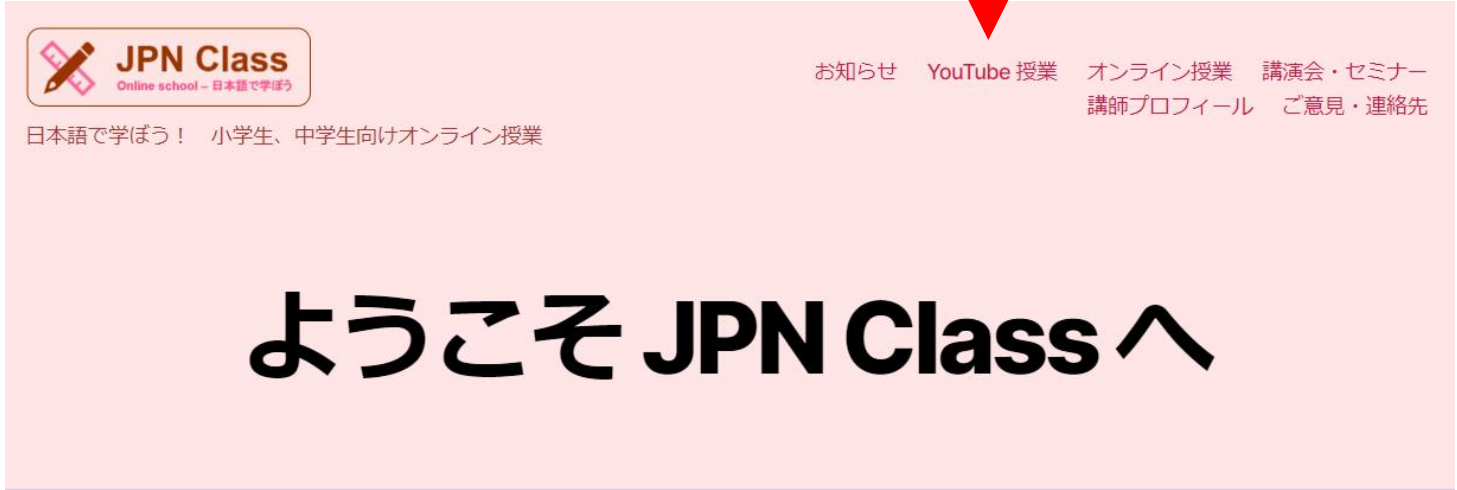
学習を始める前に

- ① 授業で使う文章を印刷してください。



印刷の仕方

1. Webページ <http://JPNCClass.com> へ行きましょう。
2. YouTube授業をクリックしましょう。



The screenshot shows the JPNC Class website header. On the left is the logo with a pencil icon and the text "JPNC Class Online school - 日本語で学ぼう". Below the logo is the text "日本語で学ぼう! 小学生、中学生向けオンライン授業". On the right, there are navigation links: "お知らせ", "YouTube 授業", "オンライン授業", "講演会・セミナー", "講師プロフィール", and "ご意見・連絡先".

ようこそ JPNC Class へ

JPNCClassは、海外に暮らす子どもたちとご家族をサポートする目的で開設されました。子どもたちにオンラインでの国語などの授業を提供します。また、ご家族と海外での日本語教育や子育てについて共に考える講演会やセミナーを開催します。

授業は、オンライン授業 (Zoom)、ビデオ (Youtube)を通して提供します。現在お住まいの地域に日本語補習校など日本語を学ぶ学校がない、行く時間がない、あるいは自分のペースで日本語の勉強を進めたいといった子どもたちに最適です。

詳しくは、オンライン授業、YouTube授業、講演会・セミナーのページをご覧ください。



印刷の仕方

3. 中学1年の教科書をクリックしましょう。



トップ [YouTube 授業](#) ▾ オンライン授業 講演会・セミナー 講師プロフィール お知らせ
ご意見・連絡先

日本語で学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

YouTube 授業

小学4年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



小学5年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



小学6年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



中学1年 国語


[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



印刷の仕方

3. 中1国語 6月第1週 〈スライド (PDF)〉をクリックしましょう。



トップ [YouTube 授業](#) [オンライン授業](#) [講演会・セミナー](#) [講師プロフィール](#) [お問い合わせ](#)
ご意見・連絡先

日本語を学ぼう！ 小学生、中学生向けのオンライン授業

中学1年国語

[YouTube チャンネル 中1国語 \(チャンネル登録をしよう\)](#)

YouTube ビデオ & スライド ライブラリ

6月

| | | | |
|------|-------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 中1国語 | 6月第1週 | <YouTube ビデオ> | <スライド (PDF)> |
| 中1国語 | 6月第2週 | <YouTube ビデオ> | <スライド (PDF)> |
| 中1国語 | 6月第3週 | <YouTube ビデオ> | <スライド (PDF)> |
| 中1国語 | 6月第4週 | <YouTube ビデオ> | <スライド (PDF)> |

クジラたちの声

大昔から船乗りたちは、船がクジラの群れに近づくと、低く不気味な音が船底にこだまするのを知っていた。彼らはそれをクジラの鳴き声だと信じていた。

しかし、当時の研究者がいくらクジラの体を調べても、声を出すために必要な声帯は見つからなかった。人々は、声帯がない以上、鳴き声を出すことはできないはずだと考え、船乗りたちが聞いたのは、何か別の音だろうということになった。

だが、彼らを観察していると、時として互いに情報を伝え合っているのと同じかと思えない場面に出会う。

例えば、コククジラの群れでは、一頭がおとりになると、敵から群れの仲間を別の方向に逃がすことがある。逃げる群れを九十度の角度で曲がらせた先頭の一頭が、逆もどりして、目立つように泳ぎながら、仲間とは別の方向に一直線に進むのである。

おとりになるのはよほど泳ぎに自信のあるクジラらしく、一頭で逃げきってまた仲間の群れに合流する。そうしたことから、研究者たちは、クジラには情報を受信・発信



コククジラ

三メートル。体重

中1国語 第1週



1

4.  がついているページを印刷しましょう。

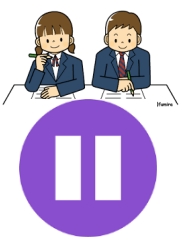
②必ず用意してください

- 国語のノートと漢字ノート
- 筆記用具

(赤ペン、赤えんぴつも必要)

③気をつけること

- 大事だと思うところはノートに書いてください。
- 「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。



- 必要があるときは、ビデオを止めて、もう一度ビデオを見たりしてください。

先週の宿題

1. 漢字

新しい漢字の練習をしましょう。

2. 音読

「クジラたちの声」を読みましょう。

3. 構成

ノートにまとめた、「クジラたちの声」の構成を復習しましょう。

《問いと答えに注目》

説明的な文章には、問題を提起し、それに答える形で書かれています。そのような文章では、問いの部分と答えの部分に注目しよう。いくつかの問いがあり、それぞれの問いにどのように答えているかを考えながら読むことで、文章の構成が明確に見えてくる。



漢字テスト① —の漢字の読み方を書きましよう。

- ① **互いに**情報を伝え合う。
- ② 仲間を別に方向に**逃がす**。
- ③ 気道にある**袋**を使って音を出す。
- ④ クジラの**聴覚**は発達している。
- ⑤ クリック音の反射で**把握する**。
- ⑥ **音響**探知機と同じ仕組みである。
- ⑦ 二十分くらいの間隔で繰り返す。
- ⑧ 音を発するのは成熟した**雄**である。
- ⑨ **雌**に自分の存在を知らせる。
- ⑩ **巧み**に音を使う。
- ⑪ 目で見える情報は**頼りない**。
- ⑫ 自分たちの暮らす**環境**。
- ⑬ 体の**特徴**を生かす。
- ⑭ クジラには**優れた**手段がある。
- ⑮ **海中**を探る。



漢字テスト①

—の漢字の読み方を書きましよう。

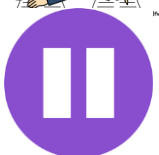
答え合わせをしましょう。

- ① **互い**に情報を伝え合う。
たがい
- ② 仲間を別の方向に**逃**がす。
にがす
- ③ 気道にある**袋**を使って音を出す。
ふくろ
- ④ クジラの**聴**覚は発達している。
ちようかく
- ⑤ クリック音の反射で**把**握する。
はあく
- ⑥ **音響**探知機と同じ仕組みである。
おんきよう
- ⑦ 二十分くらいの**間**隔で繰り返す。
かんかく
- ⑧ 音を発するのは成熟した**雄**である。**おす**
- ⑨ **雌**に自分の存在を知らせる。
めす
- ⑩ **巧**みに音を使う。
たくみ
- ⑪ 目で見える情報は**頼**りない。
たよりない
- ⑫ 自分たちの暮らす**環**境。
かんきよう
- ⑬ 体の**特**徴を生かす。
とくちよう
- ⑭ クジラには**優**れた手段がある。
すぐれた
- ⑮ 海中を**探**る。
さぐる

漢字テスト②

―を漢字で書きましょう。

- ① たがいに情報を伝え合う。
- ② 仲間を別に方向ににがす。
- ③ 気道にあるふくろを使って音を出す。
- ④ クジラのちようかくは発達している。
- ⑤ クリック音の反射ではあくする。
- ⑥ おんきよう探知機と同じ仕組みである。
- ⑦ 二十分くらいのかんかくで繰り返す。
- ⑧ 音を発するのは成熟したおすである。
- ⑨ めすに自分の存在を知らせる。
- ⑩ たくみに音を使う。
- ⑪ 目で見る情報はたよらない。
- ⑫ 自分たちの暮らすかんきよう。
- ⑬ 体のとくちようを生かす。
- ⑭ クジラにはすぐれた手段がある。
- ⑮ 海中をさぐる。



漢字テスト②

漢字ををノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう

- ① たがいに情報を伝え合う。 互いに
- ② 仲間を別に方向ににがす。 逃がす
- ③ 気道にあるふくろを使って音を出す。 袋
- ④ クジラのちようかくは発達している。 聴覚
- ⑤ クリック音の反射ではあくする。 把握
- ⑥ おんきよう探知機と同じ仕組みである。音響
- ⑦ 二十分くらいのかんかくで繰り返す。 間隔
- ⑧ 音を発するのは成熟したおすである。 雄
- ⑨ めすに自分の存在を知らせる。 雌
- ⑩ たくみに音を使う。 巧み
- ⑪ 目で見える情報はたよりにない。 頼り
- ⑫ 自分たちの暮らすかんきよう。 環境
- ⑬ 体のとくちようを生かす。 特徴
- ⑭ クジラにはすぐれた手段がある。 優れた
- ⑮ 海中をさぐる。 探る





大昔から船乗りたちは、船がクジラの群れに近づくと、低く不気味な音が船底にこだまするのを知っていた。彼らはそれをクジラの鳴き声だと信じていた。

しかし、当時の研究者がいくらクジラの体を調べても、声を出すために必要な声帯は見つからなかった。人々は、声帯がない以上、鳴き声を出すことはできないはずだと考え、船乗りたちが聞いたのは、何か別の音だろうということになった。

だが、彼らを観察していると、時として互いに情報を伝え合っているとしか思えない場面に出会う。

例えば、コククジラの群れでは、一頭がおとりになつて、敵から群れの仲間を別の方向に逃がすことがある。逃げる群れを九十度の角度で曲がらせた先頭の一頭が、逆もどりして、目立つように泳ぎながら、仲間とは別の方向に一直線に進むのである。

おとりになるのはよほど泳ぎに自信のあるクジラらしく、一頭で逃げきつてまた仲間の群れに合流する。そうしたことから、研究者たちは、クジラには情報を受信・発信する何か優れた手段があるにちがいないと考えるようになった。

では、その「手段」とは、いったいなんだろうか。

《言葉》

声帯 のどこにある声を出す器官。

コククジラ コククジラ科に属する。体長は約十三メートル。体重は、十四〜三十五トン。

《新しい漢字》

《新しい読み方の漢字》

互たがい

逃にがす

優すぐれる



コククジラ



二十世紀後半になり、録音技術が向上して、クジラの鳴き声ごとらえられた。クジラが鳴くということが、ようやく証明されたのである。調べてみると、クジラは、鼻の奥に続く気道にあるいくつかの袋を使って音を出していた。そのため、声帯がなくても鳴くことができたのであった。そのうえクジラは、人間の耳には聞こえないほど低い音から、これも人間には聞こえない超音波とよばれる高い音までを出していたので、録音することも難しかったのである。

しかもクジラたちは、短く高い音と、長く続く低めの音の二種類を、目的に応じて使い分けていた。

短いほうの音は、「クリック」とよばれる。これは周りの様子を知らするための音である。クジラの聴覚は非常に発達している。自分の発したクリック音が周りの物に当たり、はね返ってくるのを聞き、それがどのくらいの大きさなのか、何でできているのか、また、止まっているのか動いているのかなどを察知する。このような知覚方法をエコロケーションという。

さらに、自分たちのえさとなる魚たちが、どの方向へ、どのくらいの速さで進んでいくのかも、このクリック音の反射で把握している。これは、人間が海中を探るために使う音響探知機と同じ仕組みである。

もう一つの、低い連続した音は、「ホイッスル」とよばれる。これは、主として仲間どうしのコミュニケーションに用いられる。いわばクジラたちの「言葉」といえるだろう。おもしろいことに、同じ種類のクジラでも、群れによって使われるホイッスル音は違うことがある。それぞれの群れは、その群れに特有な音を使って、その群れにしか通じない方法で情報を伝え合っているのかもしれない。

《新しい漢字》 《新しい読み方の漢字》

ふくろ チョウ

袋

聴覚

ハアク

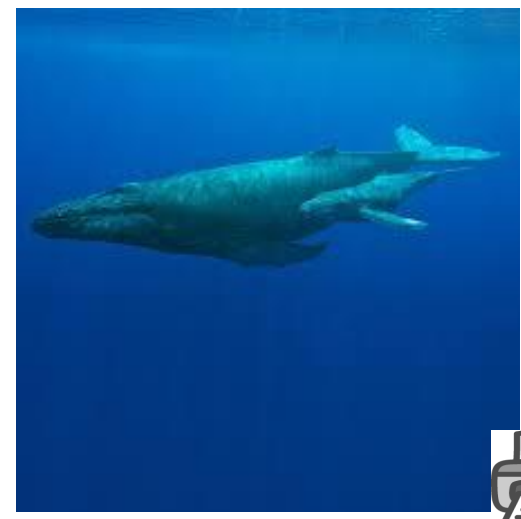
把握

さぐ

探る

キョウ

音響



ザトウクジラ

ザトウクジラは、このホイッスル音で「歌」を歌うことが知られている。五分から二十分くらいの間隔で、まるでメロディのように、ひとまとまりの決まった音をくり返しくり返し発するのだ。こうした音を発するのは、成熟した雄のザトウクジラであり、その期間は繁殖の時期が中心となる。このことから、ザトウクジラの「歌」は、主として雌や、ライバルとなる雄に自分の存在を示すためのものであるといういわれている。

それでは、クジラたちは、なぜこのように巧みに音を使って、周りの状況をとらえたり、情報を互いに伝え合ったりするようになったのだろうか。

彼らは、光の届きにくい海の中で生活している。こうした海の中では、二十メートルほど先を見わたすのがやっとである。目で見る情報はとても頼りないものとなる。

しかし音は、たとえ暗やみだらうと響きわたる。そのうえ水中では、音は陸上の五倍という驚くべき速さで伝わるのである。音こそまさに、海の中での情報の受信や発信にはうってつけの手段であるといえよう。

クジラたちは、自分たちの暮らす環境の中で、その体の特徴を生かしながら、周りの情報を得たり、得た情報を互いに伝達し合ったりしながら生活しているのである。

《言葉》

ザトウクジラ ナガスクジラ科に属する。体長は約十五メートル。体重は、三十〜四十トン。

《新しい漢字》

間隔 カク

雄 おす

雌 めす

巧み たく

頼りない たよ

環境 カン

特徴 チョウ

構成



● 問題提起①（1枚目2行目～23行目）

声帯のないクジラが、情報を受信・発信する**手段は何か**。

● 答え①（2枚目1行目～3枚目11行目）

クジラは鼻の奥に続く気道にいくつかある袋を使って音を出す。

しかも、二種類の音を目的に応じて使い分ける。

● 問題提起②（3枚目12行目～14行目）

クジラたちは、**なぜ**巧みに**音**を使って、周りの状況をとらえたり、情報を互いに伝え合ったりするようになったのか。

● 答え②（3枚目15行目～22行目）

暗やみで響きわたり水中で速く伝わる音は、クジラが生活する海の中での情報の受信や発信には、うってつけの手段だといえる。

● まとめ（3枚目24行目～26行目）

クジラたちは、自分たちが暮らす環境の中で、体の特徴を生かしながら、情報を得たり伝達し合ったりして生活している。





大昔から船乗りたちは、船がクジラの群れに近づくと、低く不気味な音が船底にこだまするのを知っていた。彼らはそれをクジラの鳴き声だと信じていた。

しかし、当時の研究者がいくらクジラの体を調べても、声を出すために必要な声帯は見つからなかった。人々は、声帯がない以上、鳴き声を出すことはできないはずだと考え、船乗りたちが聞いたのは、何か別の音だろうということになった。

だが、彼らを観察していると、時として互いに情報を伝え合っているとしか思えない場面に出会う。

例えば、コククジラの群れでは、一頭がおとりになって、敵から群れの仲間を別の方向に逃がすことがある。逃げる群れを九十度の角度で曲がらせた先頭の一頭が、逆もどりして、目立つように泳ぎながら、仲間とは別の方向に一直線に進むのである。おとりになるのはよほど泳ぎに自信のあるクジラらしく、一頭で逃げきってまた仲間の群れに合流する。そうしたことから、研究者たちは、クジラには情報を受信・発信する何か優れた手段があるにちがいないと考えるようになった。



コククジラ

では、その「手段」とは、いったいなんだろうか。

二十世紀後半になり、録音技術が向上して、クジラの鳴き声がとらえられた。クジラが鳴くということが、ようやく証明されたのである。調べてみると、クジラは、鼻の奥に続く気道にあるいくつかの袋を使って音を出していた。そのため、声帯がなくても鳴くことができたのであった。そのうえクジラは、人間の耳には聞こえないほど低い音から、これも人間には聞こえない超音波とよばれる高い音までを出していたので、録音することも難しかったのである。

(7) ー線⑤「手段」とは、何をする手段ですか。「・・・手段」に続く形で、文章中から書き出しましょう。

ー手段

(8) ー線⑥「録音技術が向上して、クジラの鳴き声がとらえられ
た」とありますが、録音技術が向上するまで、くじらの鳴き声が
とらえられなかったのはなぜですか。その理由が書かれている一
文を見つけてみましょう。

(9) ー線⑦「声帯がなくても鳴くことができた」のは、なぜですか。

(10) この文章で、問題提起をしている段落を見つけて、初めの五字
を書きましよう。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |

(11) この文章の内容に合うものを次から選びましよう。

- ア 船乗りたちが聞いていたのは、クジラの鳴き声ではなかった。
- イ 二十世紀になってようやく、クジラの生態が発見された。
- ウ 研究者たちは、コククジラが音を出すと知っていた。
- エ クジラが泣くと証明されたのは二十世紀後半である。



(1) 〓 線①・② 「彼ら」が指している言葉を、文章中からそれぞれ書き出しましょう。

① (船乗りたち) ② (クジラ)

(2) 〓 線③ 「それ」が指している言葉を、文章中から七字で書き出しましょう。

| |
|---|
| 低 |
| く |
| 不 |
| 気 |
| 味 |
| な |
| 音 |

(3) 〓 線④ 「船乗りたちが聞いたのは、何か別の音だろうということになった」とありますが、それはなぜですか。

クジラの体から声帯が見つからず、声帯がない以上、クジラには鳴き声は出せないはずだと考えられたから。

(4) 〓 線⑤ 「一頭がおとりになって」について考えましょう。

⑤ どのようにすることで「おとり」になるのですか。それがわかる部分を文章中から六十字以内で見つけて、初めと終わりの五字を書きましょう。

| |
|---|
| 逃 |
| げ |
| る |
| 群 |
| れ |
| く |
| 直 |
| 線 |
| に |
| 進 |
| む |

⑥ 「おとり」になるのは、どんなクジラだと考えられるのですか。
(泳ぎに自信のあるクジラ)

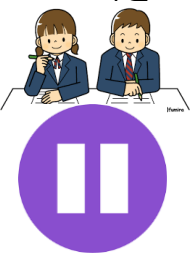
(5) 〓 線⑥ 「そうしたこと」が指している内容として最も適切なものを次から選びましょう。

ア 先頭の一頭がおとりになって逃げきったあと、再び仲間の群れに合流すること。

イ 先頭の一頭が九十度の角度で曲がると、他のクジラも九十度で曲がること。

ウ おとりを使って敵から仲間を逃がすことがあるのは、コククジラだけであること。

エ おとりになるクジラが複数ではなく、いつも一頭だけであること。



(7) ー線⑤ 「手段」とは、何をする手段ですか。「・・・手段」に続く形で、文章中から書き出しましょう。

（情報を受信・発信する）手段

(8) ー線⑥ 「録音技術が向上して、クジラの鳴き声がとらえられ
た」とありますが、録音技術が向上するまで、くじらの鳴き声が
とらえられなかったのはなぜですか。その理由が書かれている一
文を見つけてみましょう。

そのうえクジラは、人間の耳には聞こえないほど低い音から、これ
も人間には聞こえない超音波とよばれる高い音までを出していたの
で、録音することも難しかったのである。

(9) ー線⑦ 「声帯がなくても鳴くことができた」のは、なぜですか。
クジラは、鼻の奥に続く気道にあるいくつかの袋を使って音を出
していたから。

(10) この文章で、問題提起をしている段落を見つけて、初めの五字
を書きましよう。

| |
|---|
| で |
| は |
| 、 |
| そ |
| の |

(11) この文章の内容に合うものを次から選びましょう。

- ア 船乗りたちが聞いていたのは、クジラの鳴き声ではなかった。
 - イ 二十世紀になってようやく、クジラの生態が発見された。
 - ウ 研究者たちは、コクジラが音を出すと知っていた。
- ㊦ クジラが泣くと証明されたのは二十世紀後半である。



しかもクジラたちは、短く高い音と、長く続く低めの音の二種類を、
目的にに応じて使い分けていた。

短いほうの音は、「クリック」とよばれる。これは周りの様子を知ら
るための音である。クジラの聴覚は非常に発達している。自分の発し
たクリック音が周りの物に当たり、はね返ってくるのを聞き、それが
どのくらいの大きさなのか、何でできているのか、また、止まってい
るのか動いているのかなどを察知する。このような知覚方法をエコロ
ケーションという。

さらに、自分たちのえさとなる魚たちが、どの方向へ、どのくらい
の速さで進んでいくのかも、このクリック音の反射で把握していく。

これは、人間が海中を探るために使う音響探知機と同じ仕組みである。
もう一つの、低い連続した音は、「ホイッスル」とよばれる。これ
は、主として仲間どうしのコミュニケーションに用いられる。いわば
⑤クジラたちの「言葉」といえるだろう。おもしろいことに、同じ種類
のクジラでも、群れによって使われるホイッスル音は違うことがある。
それぞれの群れは、その群れに特有な音を使って、その群れにしか通
じない方法で情報を伝え合っているのかもしれない。

ザトウクジラは、このホイッスル音
で「歌」を歌うことが知られている。

五分から二十分くらいの間隔で、まる
でメロディのように、ひとまとまりの
決まった音をくり返しくり返し発する
のだ。こうした音を発するのは、成熟
した雄のザトウクジラであり、その期
間は繁殖の時期が中心となる。このこ
とから、ザトウクジラの「歌」は、主
として雌や、ライバルとなる雄に自分の存在を示すためのものである
うといわれている。



ザトウクジラ



それでは、クジラたちは、なぜこのように巧みに音を使って、周りの状況をとらえたり、情報を互いに伝え合ったりするようになったのだろうか。

彼らは、光の届きにくい海の中で生活している。こうした海の中では、二十メートルほど先を見わたすのがやっつである。目で見ると情報はとても頼りないものとなる。

しかし音は、たとえ暗やみだろうと響きわたる。そのうえ水中では、音は陸上の五倍という驚くべき速さで伝わるのである。^⑦音こそまさに、海の中での情報の受信や発信にはうってつけの手段であるといえよう。

クジラたちは、自分たちの暮らす環境の中で、その体の特徴を生かしながら、周りの情報を得たり、得た情報を互いに伝達し合ったりしながら生活しているのである。



(5) ー線⑥「『歌』を歌う」とありますが、その目的は何だといわれ
ていますか。

(6) ー線⑦「音こそまさに、海の中での情報の受信や発信にはうって
つけの手段である」について考えましょう。

④ そのようにいえる理由を二つ書きましょう。

•
•

⑤ この部分は、文章中で提起された問題の答えになっています。
その問題提起をしている段落を見つけて、初めの五字を書きましょう。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |

(7) この文章の内容に合うものを次から選びましょう。

- ア 短く高い音は、仲間どうしのコミュニケーションに使われる。
- イ コミュニケーションに使う音は群れによって違うことがある。
- ウ ザトウクジラは、短く高い音を使って「歌」を歌う。
- エ 暗い海中にすむクジラは、視覚と聴覚が発達している。

《答え付き》

(1) ー線①「短く高い音」、ー線②「長く続く低めの音」は、それぞれ何とよばれていますか。

① (クリック) ② (ホイツスル)

(2) ー線③「周りの様子を知る」について考えましょう。

④ どのように知るのですか。それが書かれている一文を見つけてみましょう。

自分の発したクリック音が周りの物に当たり、はね返ってくるのを聞き、それがどのくらいの大きさなのか、何でできているのか、また、止まっているのか動いているのかなどを察知する。

⑤ このようにして周りの様子を知る方法を、何といますか。

(エコロケーション)

(3) ー線④「自分たちのえさとなる魚たちが、どの方向へ、どのくらいの速さで進んでいくのか」を把握する仕組みは、何と同じだと述べられていますか。

(音響探知機)

(4) ー線⑤「クジラたちの『言葉』といえる」とありますが、それはなぜですか。次から選びましょう。

ア 人間の言葉のように聞こえるから。

④ コミュニケーションの手段だから。

ウ 群れが違ふと意味が通じないから。

エ 文字で書き表すことができるから。

(5) ー線⑥「『歌』を歌う」とありますが、その目的は何だといわれ
ていますか。

雌や、ライバルとなる雄に自分の存在を示すため

(6) ー線⑦「音こそまさに、海の中での情報の受信や発信にはうって
つけの手段である」について考えましょう。

④ そのようにいえる理由を二つ書きましょう。

- ・ 目で見る情報が頼りない暗い水中でも、音は響きわたりから。
- ・ 音は、水中では、陸上の五倍の速さで伝わるから。

⑤ この部分は、文章中で提起された問題の答えになっています。
その問題提起をしている段落を見つけて、初めの五字を書きましょう。

| |
|---|
| そ |
| れ |
| で |
| は |
| 、 |

(7) この文章の内容に合うものを次から選びましょう。

- ア 短く高い音は、仲間どうしのコミュニケーションに使われる。
イ コミュニケーションに使う音は群れによって違うことがある。
ウ ザトウクジラは、短く高い音を使って「歌」を歌う。
エ 暗い海中にすむクジラは、視覚と聴覚が発達している。



・船がクジラの群れに近づくと（低く不気味な）音がする。

← 船乗りたちは、クジラの（鳴き声）だと信じていた。

← しかし、クジラの体から声帯は見つからなかった。

・だが、クジラが情報を伝え合っているとしか思えない場面がある。



クジラには情報を受信・（発信）する何か優れた手段があるに
ちがいないと考えるようになった。



二種類の音

を、目的に応じて使分けける。

クジラたちは、短く高い音と、長く続く低めの音の二種

▼ 短いほうの音 〓 ()

周りの様子を知るための音。

・自分の発したクリック音が周りの物に当たり、はね返ってくるのを
聞いてゴその大ききなどを察知する。

・ ↓ () という知覚方法。

速さ

・自分たちのえさとなる魚たちが進む方向や () も、クリック
音の反射で把握する。

ホイッスル

▼ 低い連続した音 〓 (コミュニケーション) とよばれる。

言葉として仲間どうしの () に用いられる、

() と言える音。

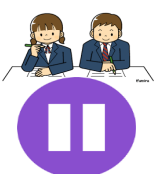
・同じ種類のクジラでも、群れによって使われるホイッスル音は違う
ことがある。

歌

・ザトウクジラは、ホイッスル音で () を歌う。

存在

雌やライバルとなる雄には、自分の () を示すため
のものであろうといわれている。



宿題

次回の授業までにやる勉強です。必ずやりましょう。

1. 漢字

新しい漢字の練習をしましょう。

2. 音読

「クジラたちの声」を読みましょう。

3. 構成

ノートにまとめた、「クジラたちの声」の構成を復習しましょう。

《問いと答えに注目》

説明的な文章には、問題を提起し、それに答える形で書かれています。そのような文章では、問いの部分と答えの部分に注目しよう。いくつかの問いがあり、それぞれの問いにどのように答えているかを考えながら読むことで、文章の構成が明確に見えてくる。





JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

中学

国語 一年

年間学習表



| 7月 (夏休み=授業は3回) | 6月 | 5月 | 4月 | | |
|--|--|---|--|---|--------------|
| | | <p>体験したことを伝えよう スピーチの構成を考え、メモをもとにスピーチをしよう。</p> | <p>野原はうたう 好きな詩を、登場する生き物の気持ちになつて朗読しよう。</p> | <p>一年間の学習を通して 先生の話を聞き、学習を進めよう。</p> | <p>話す／聞く</p> |
| <p>文章の推敲と原稿用紙の使い方 推敲のポイントと原稿用紙のうえでの推敲の仕方を知らう。原稿用紙の決まりを確かめよう。</p> | <p>情報を文章にまとめよう 自分の身の回りのことについて、情報を集め、文章にまとめよう。</p> | <p>体験したことを伝えよう スピーチの構成を考え、スピーチメモを書こう。</p> | <p>野原はうたう 自分の好きな生き物を選んで、詩を作ろう。</p> | <p>新聞記事 記事の要約をし、記事に対する自分の意見や感想を書こう。</p> | <p>書く</p> |
| <p>光と風からもらった贈り物 筆者が「高原」のどんなところに、言葉の豊かさを感じているかをとらえよう。</p> | <p>クジラたちの声 クジラの情報伝達に関する二つの問いをおさえ、音の役割、海中での情報伝達に音が最適である理由をつかもう。</p> | <p>ちよつと立ち止まつて 各図の説明を通して、ものの見方について、筆者が述べていることをとらえよう。</p> | <p>野原はうたう 作者が生き物の姿にどんな思いを感じているかを、読み取る にじの見える橋 少年の行動や心情に着目し、にじを見る前とあとの気持ちの変化をとらえよう。</p> | <p>新聞記事 新聞記事を読もう。</p> | <p>読む</p> |
| <p>混同しやすい漢字 形が似ていたり音が同じであったりする漢字を知り、間違えて使わないように気をつけよう。</p> | <p>言葉の単位 文節や単語に区切る方法を知ろう。</p> | <p>漢字の組み立てと部首 漢字の部分のよび名と表すものを覚えよう。</p> | <p>話し言葉と書き言葉 話し言葉と書き言葉の違いをおさえよう。</p> | | <p>言葉</p> |

| 1 2月 (冬休み=授業は3回) | 1 1月 | 1 0月 | 9月 | 8月 (夏休み=授業は3回) | |
|--|--|---|---|--|-------|
| | <p>いろは歌 仮名のみの原文を、 古文の調子にのって 読み、聞いてもらお う。</p> | | | | 話す／聞く |
| <p>未来をひらく微生物 環境問題について課 題を見つけ、レポー トにまとめよう。</p> | | <p>大人になれなかった 弟たちに・・・ 心に残ったこと、自 分の生活と比べてど んなことを考えたの か、感想文を書こう。</p> | <p>手紙を書こう 手紙の形式を知り、 目的や相手を考え、 手紙が書けるようにな ろう。</p> | <p>さつき 読み取った内容を、 自分自身の体験と重 ねて感想を書こう。 読書記録 読んだ本の読書記録 を書いて残そう。</p> | 書く |
| <p>未来をひらく微生物 自然の仕組みの中で、 微生物の働きが、環 境問題の解決どのよ うに利用されている のか読み取ろう。</p> | <p>いろは歌 古文の言葉の響きや 調子に読み慣れよう。 蓬菜<small>ほうらい</small>の玉の枝 古典に対する興味や 関心をもつて読もう。 今に生きる言葉 漢文独特の言い回し に慣れよう。「矛 盾」がどんなエピ ソードからどんな意 味に使われるように なったのか確かめよ う。</p> | <p>大人になれなかった 弟たちに・・・ 表現に着目し、登場 人物の心情や作者の 思いを読み取ろう。</p> | <p>麦わら帽子 麦わら帽子やカモメ に対するマキの気持 ちと、その移り変わ りを読み取ろう。</p> | <p>さつき 助けを呼びに走る場 面や、助かった正作 を見上げる場面の、 惇の胸中を表す言葉 に注目して読もう。</p> | 読む |
| <p>文の組み立て 文の成分のそれぞれ の働きや、文節どう しの関係を理解しよ う。</p> | <p>古典の言葉 文語と口語の違いを 考えよう。 漢字の音訓 音と訓それぞれの読 み方と、意味を考え よう。</p> | <p>漢字四字の熟語 漢字四字の意味をお さえよう。</p> | <p>漢語・和語・外来語 漢語・和語・外来語 の分類ができるよう になろう。</p> | | 言葉 |

| | 3月 | 2月 | 1月 (冬休み=授業は3回) | |
|-------------------------------|---|--|--|-------|
| | | 心に残る思いで読み手の興味を引くように、発表しよう。 | | 話す／聞く |
| | 言葉調べよう 言葉についての課題を調べ、資料にまとめる。 | 心に残る思いで、今までの経験で、自分が成長したと思えることや、変わったと思うことを思い出して、文章にまとめよう。 | 江戸からのメッセージ 江戸の知恵を今の時代に生かせることは何か考え、それをまとめよう。 | 書く |
| | 大仏様は「にっこり」しています 外国研究者との会話を通して、説明されている日本語の特色を読み取る。 胸の底の人と言葉たち 人や言葉との出会いを読み取り、筆者がわたしたちに願うことは何かを考えよう。 | 少年の日の思い出 登場人物の心情の移り変わりをとらえ、生き方を考えよう。 | 江戸からのメッセージ リサイクルを徹底した江戸っ子の生活と、そこから導かれた筆者の主張をつかもう。 | 読む |
| 〈一年生の漢字〉 一年生で習った漢字の復習をしよう。 | 漢字の成り立ち 漢字の成り立ちをおさえ、成り立ちで意味や読みを類推できることを知ろう。 | 指示する語句と接続する語句 指示する語句と接続する語句の種類や用法を理解しよう。 | 辞典を活用しよう 国語辞典、漢和辞典の使い方を知り、実際に様々な言葉を調べよう。 | 言葉 |



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

中学

国語一年

六月 第②週

「いいね」

「チャンネル登録」

よろしくね！

また来週。

